



オーストラリアの人事攻略で成功する為には
その105

日本国内の優良企業の入社条件及び高偏差値の大学入学条件とは基本的に高いIntellectual Quality (IQ)を基準にしております。しかし、オーストラリアの経営トップは殆どがオーナー社長で大学は出ておりません。また、日本人永住者で偏差値60以上の大学を卒業された方は稀であります。

過去にはIQだけがもてはやされた時代もありましたが、IQと共に最近ではEmotional Quality (EQ)が重要視され始めました。IQとEQは基本的に反比例する様であります。つまり、一般的にIQの高い方はEQが低く、EQの高い方はIQが低い様であります。しかし、日本国内では相変わらずIQ偏重であり、学校教育でもIQが重要視されております。

先日JETRO会議室でLowry Instituteから講師を招いて金融部会の講演会がありました。Lowry Instituteの名前は現在Shopping Centreを全豪州中に展開しているWestfieldの会長、社長のFamily Name、Lowryを取つたものであります。会長のLowryさんはギリシャからの移民で中卒で自分のBusinessはBlacktown市内の肉屋から始めました。社長をしている息子も似たような学歴であります。この親子の共通点は他にもあり、20年前に息子である現社長にお会いした時には、彼はアクロバットのNSW Championでありました。その当時現会長の父親は自家用機ボーイング727を趣味で運転しておりました。

パイロットの様にけして高IQを必要としない職業経験者から、豪州内でBusinessに成功する方が誕生しております。これは、駐在員にも言える事で偏差値のけして高くない大学を出ている方が現法の経営に成功しております。つまり、現法の経営には高EQが要求されます。EQの高い方は社員の気持ちを読む事が出来ます。また、社員の士気を高める事も出来ます。豪州の会社経営では社員、一人一人を個人と看做し、一人一人に個別の方法で指示を与えなければなりません。つまり、社員を理解しない限り指示を出しても効率の良い経営は出来ません。

EQの高い、つまり高偏差値大学出身でない駐在員の方が現法経営に適しているようです。